

北陸大学とのと鉄道株式会社との共同研究の開始について

～のと鉄道の魅力を全国に発信するために～

北陸大学は、2021年10月1日（金）より、のと鉄道株式会社と「のと鉄道観光列車における個人客の利用促進」に関する共同研究を開始しています。

本共同研究では、のと鉄道の魅力を発信する取り組みを実施することを目的とし、研究代表者である本学経済経営学部の日下恭輔助教、藤本雄紀講師が中心となり、フィールドワークによる調査・分析を通して、のと鉄道の更なる魅力を発見し、ICTを活用してインターネット上で全国に向けて発信していきます。

さらに、本共同研究では、「ICTの活用を通じた地域社会の課題解決」を大きなテーマに掲げ、のと鉄道の魅力を発信していくプロセスおよびノウハウを集積し、地域社会の魅力発信モデルのひとつとして体系化することで、他の地域連携事業への普及展開につなげ、**地方創生に寄与すること**を目指します。

<共同研究に関わる活動>

2021年度

- ・のと鉄道に係るフィールドワーク（調査分析及び撮影）を定期的を実施し、3Dモデルの制作を試みる。
- ・撮影した写真を用いて、3DCGを作成する技術（フォトグラメトリ）を活用し、のと鉄道の駅周辺を3D化する。併せて、一般市民が普段立ち入ることができないような倉庫や列車についても3D化を予定している。
- ・フィールドワークにおける調査分析内容については、担当者間で共有するとともに、3Dモデル及びPR方法については、双方で意見交換する機会を設けて制作・検討していく。
- ・3Dモデルについては、今後共有サイトにて公開し、のと鉄道の利用者と事業者の意見交換の場として活用していく。
- ・年度末に双方による意見交換の場を設けて、本共同研究に関しての評価を受けるとともに、その評価内容をもとに、次年度の活動内容の見直しを行う。

2022年度以降

- ・制作した3Dモデルを用いてバーチャルワールドを創作する。
- ・バーチャルワールド上でアバターを用いて双方向でコミュニケーションを取ることができる仕組みをつくり、のと鉄道駅員から鉄道に係る解説を聞くことができるといったバーチャルイベントを企画する。



<共同研究における役割>

のと鉄道株式会社は、七尾駅から穴水駅まで能登半島・七尾湾側の海沿いを走る、車窓から里山里海の絶景を堪能できるローカル線「のと鉄道」を管理・運営しています。本研究では、のと鉄道や周辺地域の観光資源に関する情報、動画像に係る素材を提供するとともに、魅力発信に係るPR方法について協同して検討実施します。

のと鉄道株式会社ホームページ <http://www.nototetsu.co.jp/>

北陸大学では、2020年7月に「北陸大学ものづくりLab」の運用を開始し、これまでに学生らが中心となり、ICTを利活用した様々なものづくりを実施してきました。本研究では、蓄積されたノウハウを活用し、ドローンによる空撮などを駆使した3Dモデルおよび動画を制作し、YouTubeなどの動画投稿サイトやInstagramなどの各種SNSなどへ投稿することにより、のと鉄道の魅力発信を実施します。

「北陸大学ものづくりLab」専用ホームページ <https://sites.google.com/hokuriku-u.ac.jp/monolab/home>